



国内外の各地から約12万人が帰集った教祖140年祭。四方の礼拝場をはじめ神苑一帯のパイプイス8500脚が、参拝者で埋め尽くされた

世界各地から12万人が参集

教祖140年祭

教祖・中山みき様が^{うっし}現身をかくされた明治20年陰暦正月二十六日から、数えて140年。16回目の教祖年祭となる教祖140年祭は1月26日、奈良県天理市の天理教教会本部で厳かに執り行われた。

折からの強烈な寒波の影響で全国的に交通障害が発生し、各地で足止めを余儀なくされた帰参者も少なくなかったが、当日は、国内はもとよ

り世界各地から約12万人が帰参し、ご存命でお働きくださる教祖に三年千日と仕切った成人の歩みをご報告した。

おつとめの後、あいさつに立たれた真柱様は、参拝者一同に年祭活動に対するねぎらいの言葉をかけられたうえで、年祭を節目に心の向きをそろえて、3年間の努力のうえに立った歩み続けることを求められた。

